

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	102	子供文化フェスティバル	01	01	一般会計
基本施策	35	文化芸術により豊かな感性と創造性を育む	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			07	07	文化振興費
担当部課名		企画振興部 文化国際課	101	101	文化振興経費
作成者氏名	松本博臣	連絡先	22-9624	02	美術展覧会運営経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	子ども文化フェスティバルに参加した子ども	さまざまな材料でものをつくる等、体験することで子どもの創造力を養い、文化の振興に寄与する。
本年度事業内容	伊賀市教育研究会へ業務委託。伊賀市内幼稚園、小中学校の児童生徒が集いさまざまな作品をつくったり創造活動をしたり夏やすみの一日をこどもたちや保護者が交流する。会場には体験コーナー、実験コーナー、音楽や紙芝居のコーナーなどを設置した。	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
根拠法令・要綱等		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.02	0.02	0.02
	人件費合計(A)	144	144	144
②支出内訳(千円)	事業費(B)	1,000	1,000	1,000
	委託料	1,000	1,000	1,000
	その他			
	合計(A+B)	1,144	1,144	1,144
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担	1,000	1,000	1,000
一般財源	144	144	144	
上記①～③に関する特記事項				
③文化振興基金				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
入場者数	人	2300	2350	2400			
出展ブース数		19	19	19			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
入場者数	入場者数の増がこども文化の向上をしめす指標となる	人	2300 目標 (2,000)	2350	2400
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀市全体での取り組みとしてなされ、子供・教師間の交流が深まった。

評価	必要性	4	保育や学習活動から生まれた作品から参加者は、学ぶことが多かった。	総合評価
	有効性	3		A
	達成度	3		
	効率性	3		